





福井しあわせ元気大会開会式の様子

CONTENTS

感動と勇気をありがとう!福井しあわせ元気大会 (全国障害者スポーツ大会) 「融合」から「共生」へ ~ふくいのふくしの新たな礎に~



- ◆第65回福井県社会福祉大会開催
- ◆「ふくし広報コンテスト2018」入賞作品
- ◆「福井県ボランティア作文コンクール」 入賞作品
- ◆「つながれボランティアの輪」推進運動報告

別紙 ◆ 平成30年度福井県社会福祉協議会・ 福井県共同募金会会長表彰受賞者一覧

6.7P 社協TOPICS

- ◆生活福祉資金貸付制度のご案内
- ◆介護職員等訪問指導研修事業のご案内
- ◆ソウェルクラブのご案内



- 8₽ ◆寄付・寄贈
 - ◆サキドリ情報



~ ふくい の ふくし の 新 た な 礎 に ~



協力者の皆さんからの感想とメッセージ~

「みんなで舞台に立とう」を広げる会 代表 酒井 晴美さん

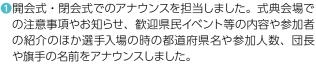
- ●開会式の式典演 技のシーン1と フィナーレに参 加、閉会式の「は ぴねすダンス」 に参加しました。
- ②[みなぶた] のみ んなが、のびの びしていて、と にかく楽しかった こと!温かい雰囲



気にあふれていて、選手や観客の方との一体感 があって、とても心地よかったこと。

③障がいがあってもなくても、自分のやりたいこと をやる、楽しむ、人と一緒にやる、人を応援す るなど、みんながなりたい自分を目指して、輝き ながら生きていけるといいなと思います。

福井県立福井特別支援学校 中学部3年 山田 愛利さん





- ②県庁や市役所の職員さんが主に式典の運営をされていたと思いますが、私は、 総合練習やリハーサルにも参加させていただいたので、みんなが障スポ大会の 成功のために同じ気持ちでいる事が印象に残りました。閉会式の後は、式典ア ナウンサーの方や式典スタッフの方とのお別れがとても寂しかったです。
- ③大会の期間中は、障がいのある方が多く来県して、いろい ろな施設を利用されたと思います。その中で、実際に利用 してみないと分からない問題点もあったと思います。大会 をきっかけに、施設や道、電車やバスなど、障がいがあっ ても住みやすい、来やすい福井県になってほしいです。障 がいがあってもなくても楽しく安心安全に暮らしたり旅行 できる県として日本一になってほしいです。



特集「融合」から「共生」



各競技の写真については、しあわせ福井スポーツ協会からご提供いただきました。(一部本会撮影)

~本大会を支えたボランティアや式典

福井県医療福祉専門学校 こども・介護学科1年 吉田 晴華さん

- ●福井駅での選手団の出迎えと見送り、車いすの準備やお弁当の 引換、練習の付き添いなど選手団のサポートを担いました。
- 2選手の人たちと初めて顔を合わせた公式練習では、緊張から戸惑ってしまいました。しかし、選手から「一緒に写真を撮ってください」と声をかけてもらえたことで緊張がほぐれ、話をすることができるようになりました。競技前の選手から「吉田さんに応援してもらったら頑張れます」と言われた時には本当に嬉しく、精いっぱい応援しました。そして、懸命に競技に取り組む選手の姿に胸が熱くなり、選手が一位になった時の感動は言い表すことができないものでした。
- ③この大会をきっかけに、健常者や障がい者の区別なく、誰にとっても住みやすいまちになってほしいと思います。そして、困っている人がいたら誰にでも手を差し伸べられる心やさしいまちであってほしいと思います。



要約筆記者 竹山 よしみさん

- ●情報支援ボランティアとして、式典では受付の前に立ち、筆談の依頼を待ったり、陸上競技会場では、サブリーダーとしてメンバーの役割分担や「情報保障席」において文字情報で通訳をしました。
- ②競技者の方々のエネルギッシュな戦いにと
 - ても驚きました。想像以上 で圧倒されま した。
- 3国体・障スポ 大会の融合を 掲げたのです



から、これからも地域・学校・企業などでイベント等が定期的に行われるといいと思います。

第65回福井県社会福祉大会

10月27日(土)、福井県生活学習館(ユー・アイふくい)にて「第 65回福井県社会福祉大会 を開催しました。

本大会は、永年にわたり社会福祉の推進に貢献された方々に感 謝の意を表するとともに、県内の福祉関係者が福祉課題に対する 相互理解を深めることを目的に開催するものです。

式典では、県内の福祉向上に貢献された民生委員・児童委員な ど7部門287名、8団体に、また共同募金運動に尽力された個人25 名、8団体に対し、清川会長より表彰状が授与されました。

そのほか、福井県ボランティア作文コンクール、ふくし広報コ

ンテストの表彰式も行われました。

また、式典終了後には、「見守る介護、地域とのつながり」をテーマに、女優・ モデルの秋川リサさんにご講演いただきました。

講演では、実の母親が認知症を発症し、自宅でその介護をされた経験を踏 まえ、「見守る介護、自分を責めずに頑張りすぎない介護」を推奨することに なった経緯、家族や協力者の向き合い方などについてお話をいただきました。





「ふくし広報コンテスト2018 | 入賞作品が決定

県内の社会福祉法人・特定非営利活動法人等の広報を通じて、福井県の幸福度を支える「ふくし」の現 場の魅力や価値を広く県民に伝えることを目的に、今年で6回目となる「ふくし広報コンテスト2018」を 実施し、応募35作品の中から6点が入賞しました。

最優秀賞(福)足羽福祉会「愛道」 優 秀 賞 (福)福泉会「いずみ」 (特非)自立生活センタ・ Com-Support Project 「がんばらない通信」

審査員特別賞「仲間とともに賞」(福)ハスの実の家「ハスの実だより」 「きらり職員賞」(福)光道園「絆の杜」

「まち・ひと笑顔賞」福井市湊地区社会福祉協議会

「ふれあいみなと」

最優秀賞の作品









(福)足羽福祉会「愛道|

優秀賞の作品







上段:(福)福泉会[いずみ] 下段:(特非)自立生活センターCom-Support Project「がんばらない通信」

「福井県ボランティア作文コンクール」入賞作品が決定

福井県社会福祉協議会では、平成22年度から「『つながれボランティアの輪』推進運動」としてさまざまな事業を実施しています。

このコンクールもその事業の一つで、作文を通じて、県民のボランティア活動への関心や参加意欲を一層高めてもらうことを目的に、平成9年度から実施しており、今回が22回目となります。

今年度も「ボランティア活動の経験から得たこと・感じたこと」「ボランティアについての自分の思い・考えていること」をテーマに幅広い世代の方々から応募があり、次の皆さんが入賞されました。

(敬称略)

取嗳勞貝							
小学生の部 中学生の部 高校生の部 一 般の部	『笑顔を届けるボランティア活動』 『ボランティア活動で思ったこと』 『ボランティアに参加して学んだこと』 『子供と全力で向き合った私のボランティア体験』	勝山市立成器南小学校 福 井 市 社 中 学 校 啓 新 高 等 学 校 福 井 市	6年 1年 3年	小西藤髙	山村原嶋	亮千秀	凜哉智紀
優 秀 賞 小学生の部	『点字で広がる世界』	永平寺町立御陵小学校	6年	荒	井	那	奈
中学生の部 高校生の部	『楽しむことの素晴らしさ』 『ボランティアとして私が出来ること』 -	越前市万葉中学校 啓 新 高 等 学 校	3年 1年	久伊 堀	江	寛七	奈海
一般の部	『届けたくで…伝えたくて』	坂 井 市		齊	藤	孝	子
入 選 小学生の部	『したいことを見つけて』	福井市麻生津小学校	5年	荻	巣		翔
	『大切なボランティア』	大野市有終西小学校	6年	石	本	和	輝
	『サマーチャレンジとボランティア』	勝山市立成器南小学校	5年	齋	藤	逞	人
中学生の部	『私たちは「ひょうごスマイルキッズ」』 『有難う』	坂井市立兵庫小学校 福井市足羽第一中学校	6年 2年	村 美	中川	美舞	聡華
中于王公師	『ボランティアに参加して得たこと』	福井市足羽第一中学校	2年	吉	田田	千	夏
	『初めて気づいた大切なこと』	越前市南越中学校	3年	山	本	優	芽
	『立場と成長』	永平寺町立松岡中学校	3年	黒	濟	粋	生
高校生の部	『ボランティアを終えて』 『ボランティアのイメージ』	啓新高等学校 通信制 福井県立丹南高等学校	2年 3年	平 前	鍋田	真美	美紗
	『私は世界を広げた』	福井県立丹南高等学校	2年	井	上	未	悠
	『小さなことが世界を変える』	福井県立武生高等学校	1年	福	野	真	優
一 般の部	『広がれ!ボランティアの輪』	福 井 市		竹	澤	裕志	美っ
学 长 巻	『障スポボランティアを目指して』	大 野 市		奥	村	直	子

「つながれボランティアの輪」推進運動



福井県ボランティアセンターでは、ボランティア活動を通じて、いろいろな人がつながり合い支え合うことで、社会の豊かさを実感できるよう、県民総参加型の『つながれボランティアの輪』推進運動を毎年展開しています。今年も、多くの方にご参加いただきました。



最優秀賞

7月21日~9月30日の夏休みの期間を対象に、今年は251の活動プログラムに対し、延べ597名の方に参加をいただきました。

福井市社中学校

参加者からは、「コミュニケーションをとることの大切さを知ることができた。」、「学校で学べないことが体験できよかった。」という感想が、また、受け入れを行った施設の担当者からは、「利用者の方が、笑顔で楽しんでいる様子が見受けられた。」という感想をいただくなど、双方にとってよい機会となりました。

生活福祉資金貸付制度のご案内



みなさんは生活福祉資金貸付制度をご存じでしょうか?所得の少ない世帯、障がい者や介護を必 要とする高齢者がいる世帯の生活の安定と経済的自立を図るために、資金をお貸しする制度です。

総合支援資金

失業者等生活全般に困難を抱え ている方への生活再建までの間 の生活費および一時的に必要な 費用

福祉資金(福祉費、緊急小口資金)

日常生活を送る上で、または自 立した生活を送るために、一時 的または緊急に必要な費用

教育支援資金

高等学校、大学、高等専門学校 への就学に際し必要な費用と入 学に際し必要な費用

不動産担保型生活資金

お住まいの居住用不動産を担保 に将来にわたり住居に住み続け るために必要な費用

●利用できる世帯

生活福祉資金は、個人ではなく世帯を単位として貸付けします。



利用できる世帯	要件
低 所 得 世 帯	資金の貸付けにあわせて必要な支援を受けることにより独立自活できると認められる世帯で、独立自活に必要な資金の融通を他から受けることが困難であると認められる世帯。(所得制限があります。)
障がい者世帯	身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳のいずれか の交付を受けている方の属する世帯。
高齢者世帯	65歳以上の介護を必要とする方と共に生活している世帯。 (所得制限があります。)

他の貸付制度(母子福祉資金、日本学生支援機構による奨学金など)を利用することが可能な 場合は、他制度を利用していただきます。また、貸付に際してはその他の諸条件があります。 貸付の申し込みを希望される方は、最寄りの市町社会福祉協議会までお問い合わせください。

あなたの事業所で研修を開催しませんか!

スキルアップ!ケア内容の見直しができる!!

★職場内研修を企画される方必見★



講師が小中規模の事業所に出向き、職員の介護技術等の向上や定着を支援すること を目的とした「介護職員等訪問指導研修」を実施します。

集合研修への参加機会がなかなか得られない事業所にとって、大変お得な研修です。

平成30年度研修要領をご覧ください。研修実施期間:来年1月まで

詳しくは、 福井県介護実習・普及センター

[ラインナップ]

- ②姿勢とポジショニング
- ③自立支援をめざした福祉用具の選定と活用
- 4自立を意識した着替え・入浴介護
- ⑤排泄ケアと関連用具の選定
- 6 嚥下困難者のケアと食事介助
- ▽□腔ケアと介護予防
- ③福祉用具を使った移動移乗の介助方法
- 個浴の入浴介助方法

申込・お問い合わせは…

福北地域

地域福祉課 福井県介護実習・普及センター

2 0776-24-0086

嶺南地域

嶺南地域福祉相談・介護実習普及センター

2 0770-52-7832





福祉・介護職員の福利厚生は

ウェルクラブにおまかせ!

優秀な福祉・介護人材の確保・定着、 心身のリフレッシュ、ストレスの解消など 魅力ある職場づくりにぜひ、 「ソウェルクラブ」をご活用ください。

ソウェルクラブの仕組み(加入要件)

- ■契約対象者 社会福祉事業または介護保険事業を 経営する者
- ●加入対象者 社会福祉事業等を経営する法人内の 役職員全員(非常勤職員含む)
- ●掛 1人当たり毎年度**1万円** ※非常勤職員は、1万円もしくは5千円(指 定するサービスのみ利用可)の選択制

加入のメリット

- ■スケールメリットの発揮
 - 会員数**26万2千人**(平成30年4月現在)のスケール メリットを最大限に活かし、法人単独では実現 できないサービスを提供。
- ●多種多様なサービスの提供
 - 女性にも男性にも、若い人にも年配の人にも、 ご家族でもご利用いただけるサービス
 - 会員交流事業など、それぞれの地域ニーズに 合ったサービス
 - 社会福祉関係者のための、職場で役立つ講習会
 - 職員個々人の選択の幅が拡がるサービス
- 魅力ある職場づくり
 - 職員の心身のリフレッシュやストレス解消
 - 職員の就労意欲の高揚
- ■質の高い人材の確保・定着
 - 福祉・介護の職場への就職に当たっては、福利 厚生の充実が、賃金や労働時間の次に重要な選 考ポイント



の比較

- (出展)●全産業平均と福祉分野の離職率は、厚生労働省労働分析レポート第21号(平成25年10月29日)のデータ
 - ●ソウェル加入法人の離職率は、26年4月1日現在の会員のうち26年度中に退職した会員(契約解除による退会を除く)の割合



♥9月12日(水)

贈呈者一般社団法人

生命保険協会福井県協会 様(福井市)

寄付金 100,000円(活動支援金)

贈呈先 社会福祉法人 慶長会(福井市)

社会福祉事業の発展のために 活用させていただきます。



第7回ふくいチャリティー・アート展

~未来を支える子どもたちのために~

11月23日(金)~26日(月) 9:30~17:00(最終日は15:30まで)

場 福井カルチャーセンターホール(福井放送会館5階)

県内にゆかりのある名士・作家の方から寄贈された書・絵画・陶工芸品な どを展示し、入札にて頒布します。作品頒布の収益は、子ど もの健全育成や自立支援のための事業に活用させていただ きます。

また、新たな企画として、知的・発達障がいを抱えた若者 たちの余暇活動で書道作品を制作している "くらふとくらぶ" の作品展「くらふとくらぶ秋桜展」も同時開催します。

問合せ先 総務施設課 総務グループ ☎0776-24-2339



高齢化の進行に伴う認知症高齢者や地域で生活する知的・精神障がい者等は増加していますが、自 らの判断能力が不十分なことから、自立した生活を営む上で困難を抱えることは少なくありません。「成 年後見制度(平成12年4月施行)」は、このような自ら判断することが困難な人々の自立した生活(財産を 含む)を支えるための制度です。しかし、施行後20年近く経過する今日においても、広く浸透してい るとは言いがたい状況にあります。

本講座は、この制度の普及啓発を目的に開催するもので、関心のある受講生を募集しています。詳 しくは、本会ホームページまたは本会までお問い合わせください。

開催講座

開催日	場所	定員
<嶺北>福井県社会福祉センター(福井市)	平成30年12月17日(月) 10時~16時	50名
<嶺南>プラザ萬象(敦賀市)	平成30年12月7日(金) 10時~16時	30名

- 【内容】 ◆成年後見制度の概要、法定後見・任意後見について
 - ◆対象者の理解(認知症高齢者等)(知的・精神障がい者等)
 - ◆成年後見活動の実際

問合せ先 地域福祉課 成年後見講座係 ☎0776-24-4987

民

生

委員児

童

一委員

功

八分表

彰

76

名

敦敦福敦 賀賀井賀 市市市

福

祉

委

員

功

労

表

彰

23

名

川大飯有

端西田馬 公登光優 喜 子子世子

敦 敦 福 敦 賀 賀 井 賀 市 市 市

大佐小北 道藤林風 し富美 越坂越福福福福福永勝福福あ福越南敦福福福坂敦勝敦福坂福福福勝坂敦福福あ永坂坂 前井前井井井井井平山井井わ井前越賀井井井井賀山賀井井井井井山井賀井井わ平井井 町市町市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市 町 市 町 市市市市

鶴為爲谷晉竹髙杉清境酒齋近小小河郷黒木北角加加春小奧遠江宇宇岩岩井井伊伊磯朝 日 佐 沢頭國口口川間田水 井藤藤林辻野 田下嶋谷藤藤野澤野藤前野見村谷上上藤東見田 美富正か喜尚澄和陽祐三世正裕良二 哲敏千 代 ず代 貴津紀 三 子枝夫子江子惠夫子子子子治子明代昇夫明里 一知 子子力子子美子枝洋雄

二藤藤藤藤廣平原爬濵長西中中中中中 **莨吉吉山山山山安元村村明宮松松松松孫前細別** 森田川井谷田田司木原田田澤瀬佐田揚野川本本村村野西 原川岡本野瀬下間山中田新 正ユ清正和和吉美美と政由チ邦郁昭惠美正健佐 ミ 和年し ワ 智 美子子晴夫子廣枝子子雄次コ彦子枝子子和一保 美千代 子要子 妙健久 美 子次子强 千敏敏春 夫男美弘美子

田田竹竹竹滝高高高砂清坂齊桑黒黒木木岸岸河川川加小大梅内上伊市石石蟻青戸 原原田原口本松端田口藤山藤田田木与川丸田塚木 か未美鈴雅 お 津 り歩子子雄 真久哲明千 美 紀子郎子枝 ほのぼの苑 楊梅苑 ビハーラ大野 希望園 コミュニティーネットワークふく スマイルネットワークさかい カラフル たけふ福祉工場 ビハーラ大野 たけふ福祉工場 福井県こども療育センタ 吉江学園

愛全園 ほのぼの苑 の苑 の苑 ・ 希望園 光が丘ワークセンター 鯖江市本町児童センターグループホーム白楽荘みくにの 足羽更生園 つみきハウス 養護老人ホーム大野和光園 南条子育て支援センタ 大野和光園和らぎの里 À ヘルプ事業所

大大敦敦敦敦大敦 野野賀賀賀賀野賀 市市市市市市市市市 社 会

福

祉施

設

功

分分表

彰

長南中中出立竹髙 一部山澤口木內瀬 佳眞由健洋愛喜和 美 代 子澄子一子子子宏

敦福若敦福敦敦 賀井狭賀井賀賀 市市町市市市市

村宮松増牧濱畑 田木村山野野 節智寿千義邦民 恵 惠 子子子子和彦子

鯖江市神中児童センターたけふ福祉工場一乗谷友愛会 ビハーラ大野 ライフトレーニングセンター コミュニティーネットワークふくい白楽荘 ループホー 59 ム美 名

勝南越小小坂お小南鯖鯖美お鯖小勝鯖勝福 山越前浜浜井お浜越江江浜お江浜山江山井 市前町市市市い市前市市町い市市市市市 町

佐坂齋小車北河川定加加奥奥岡大大市石五 文佳捺美睦直敏春優 出津 光留良希江々幸子 子枝美紀実美美美子美恵 聖ルカ乳児保育園 南条こども園 南条こども園 本郷こども園 草の実保育園 草の実保育園 加戸幼保園 南条こども園朝日西保育所 白蓮保育園松文保育園 宮川保育園 せらぎ保育園

山山山山山山山柳安門迎南水松松桝前堀藤福廣橋登丹 本本元田下口岸原田前田 谷田井井田 田島瀬本 純沙麻貴弘牧留 依久 美 子織子美見子子 真美宏順亜恭奈富誠貴由 智 美美 子紀之子住子江子一栄美 亩 美惠代典輔寬子 ワークかすみ 愛全園 グループホーム美山 ほ鯖 やすらぎの郷 特別養護老人ホーム大野和光園 やすらぎ荘 大野和光園ディ 大野和光園和らぎの里ライフトレーニングセンター のぼの苑に江市小黒町児童センタ 江市平井児童センター ハーラ大野 羽更生園 ハーラ大野

ビスセン

クさかい

ビスセンター

ネットワー クふく

社会福祉施

設

功労表彰〈保育〉

58 名) 高敦高福越越越照井前前前町市町市市市市市市

社 会福 祉

協

談会·民

(間社会福

1.社団

一体功労表彰

 $\widehat{40}$ 名

大浦梅上勇安安 矢谷垣田 立藤 祐一義順一里ス 子徳彦子恵美子 超前市赤十字奉仕団 越前市赤十字奉仕団 地前市赤十字奉仕団 高浜町社協 敦賀市社協 高浜町社協

永平寺 お越鯖おいて

吉山山柳安持村宮宮水松松堀堀渕藤藤福廣広樋林畠長野西中虎椿土谷谷田立竹田高白治 ^四谷 中川 田尾原田口奥中壁下倉原崎地 美陽充香悦裕尚美

吉江保育園 白蓮保育園 今庄なないろこども園 今庄なないろこども園 本郷こども園 本郷こども園 草の実保育園 今庄なないろこども園 内外海保育園 南条こども園 市条こども園 の実保育園 あおいこども園 本郷こども園 中郷こども園 いずみ保育園すみれ保育園 草の実保育園 南条こども園 ケイテー保育園 足羽東こども園 吉江保育園 南条こども園 白蓮保育園 河野保育園 しろきこども園

南越前町 おおい町

関隅鈴澤古小小黒亀神植井青 根田木﨑村谷林川原谷村上鹿 美小キ輝ち保博ふ由ス 智夜ク ゑ さ貴ミ 子子エ男子子子子子子 ミ智正 ツ 子子義

南 鯖 南 坂 鯖 南 南 鯖 南 南 坂 勝 坂 越 江 越 井 江 越 越 江 越 越 井 山 井 前 市 前 市 市 前 前 市 市 市 町 町 町 町 町 町

宮牧渕平畑橋西永出立田竹高 地田田井山本川宮口石嶋島橋 養春和秀多 惠 一代子子子 幹和喜カ珪 ふ 代ヲ じ 夫子枝ル子節子 ふ義春和秀

吉柳安森村宫松松牧牧前保細藤福廣平平菱橋中手坪津辻谷竹高佐児北川川 下田田田田川井田部間井川本村鹿内田崎口内橋木玉嶋﨑上 小茂千晴貴秀哲利千夏 夜 佳 絵 子雄子美文一夫子 江 修 美 江 子 奈み知ゆ 弘尚 知子

福井県喉友会越前市社協 坂井市社協 福井市社協 越前市社協 福井市社協 越前市社協 若狭町社協 福井市社協 敦賀市北地区社協 福井市社協 敦賀市社協 敦賀市南地区社協 福井市社協 敦賀市社協 敦賀市社協 福井市社協 南越前町社協 福井市社協 敦賀市社協 福井市社協 越前市社協 越前市赤十字奉仕 越前市社協 福井市社協 越前市社協 越前市社協 越前市社協 福井市社

優良 にボラ シテ 1 ア 表彰へ個 23 名

敦 鯖 福 鯖 越 越 賀 江 井 江 前 前 市 市 市 市 町 町

共

同

募

金運

動

優

良

团

体 表

彰

8

団

体

| 1トフル音楽会|| 羽小学校児童会

福鯖江

福越越福福 排前市市市市市 福井 福井 福井市市 福井市 福井市 福井

永富遠晉竹杉新酒木川金加小 杉田田口川森谷井下田子藤沢 敏陽公い紀妙照か世幸一義義 く ず紀 一子幸子代子子次美朗夫

福福福福越井井井前市市市市市市 越福福福福福福福 福前井井井井井井井井市市市市市市市市市市市市

葭吉山山矢宮南保平西西中 出田間本井村 原田本下佐 ト真正妙八千吉 茂昭邦正 ヨ知 朱要 子子男子江子彦實雄枝夫和

福井県共同募金会会長

50

福鯖大鯖敦鯖福井江野江野江賀江井市市市市市市市市市市

团

良

ボ

ランテ

イ

ア

表

彰

团

体

8

団

体

山山向

越口瀬 幸幸

隆子子

鯖江市町 山山 本本

廣清

募 金運 動 奉 仕 功労者表彰 25 名

共

同

子子

平成30年11月10日 ふくい社会福祉11月号 第433号 発行日

病院ボランティア

「そよ風